

パラグアイ内政・外交報告（4月分）
政治情勢

2018年5月作成

1 内政

（1）アフアラ副大統領の辞任

11日、上院及び下院はアフアラ副大統領の辞任を承認した。辞任承認にかかる審議は、ルゴ上院議長をはじめ2名を除くりベラル党、民主進歩党、並びに左派連合に所属する議員が欠席。同上院議長の欠席により、採決はアリアナ下院議長のもと実施され、出席した上院議員24名（定数45名）、下院の出席議員の49名（定数80名）の全員が賛成票を投じた。カルテス大統領は、アフアラ副大統領の後任にプチェタ最高裁判事を推薦する意向を示している（5月9日に同判事が副大統領に就任）。

（2）最高裁でカルテス大統領他の上院議員選挙立候補を認める判決

11日、最高裁判所は、カルテス大統領、ドゥアルテ元大統領及びアフアラ副大統領の上院議員選挙立候補は合憲であるとの判断を下した。

（3）総選挙結果

ア 大統領選挙

22日、大統領選挙が行われ即日開票された。21時過ぎ、選挙裁判所は記者会見を行い、大統領選挙の開票結果は不可逆的であるとして、アブド・ベニテス・コロラド党候補の勝利を宣言した。

イ 上院議員選挙の主要政党（上位3党）の議席獲得数（暫定結果）

コロラド党17議席、リベラル党13議席、左派連合6議席

ウ 下院議員選挙の主要政党（上位3党）の議席獲得数（暫定結果）

コロラド党42議席、リベラル党30議席、愛国党3議席

（4）次期外務大臣の指名

24日、アブド・ベニテス次期大統領が、自身のツイッターにおいて、次期外務大臣としてルイス・アルベルト・カスティグリオーニ上院議員を指名することを明らかにした。

2 外交

（1）ロイサガ外相の米州首脳会議出席

13日及び14日、ロイサガ外相はペルーで開催された第8回米州首脳会議にカルテス大統領代理として出席し演説を行った。演説ではパラグアイの汚職対策、ベネズエラ情勢に対するパラグアイの姿勢に言及した。また、シリアにおける化学兵器の使用を非難するとともに、エクアドル人記者殺害に対し非難するとともに哀悼の意を表した。

（2）南米諸国連合（UNASUR）への参加停止表明

19日、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、チリ、ペルー及びパラグアイの6カ国は、UNASURの現状に対して強い不満を表明し、事務局長問題が解決するまで一時的に参加停止を決定した。

23日、ロイサガ外相は、今回の決定は、UNASURからの離脱及び今期議長国であ

るボリビアに対抗することを意味しない旨述べた。

(3) アンブエロ・チリ外務大臣のパラグアイ訪問

20日、パラグアイを公式訪問していたアンブエロ外相及びロイサガ外相は、共同記者会見において両国の良好な関係及び原則・価値につき一致した旨述べた。ロイサガ外相は、今回のアンブエロ外相のパラグアイ訪問は二国間関係を深化させ、未決着の議題につき対話を行う良い機会であった旨述べ、両外相間で経済・貿易、文化、並びに南米地域の政治状況につき分析した旨明らかにした。

(4) カルテス大統領・在イスラエル・パラグアイ大使館移転に関する発言

27日、カルテス大統領は在パラグアイ・イスラエル大使館が主催したイスラエル建国70周年祝賀式典において、同大統領任期終了（8月15日）までに在イスラエル・パラグアイ大使館をテルアビブからエルサレムに移設することに賛成である旨述べた（5月21日に移転が完了）。

3 要人往来

(1) 来訪

- EU 選挙オブザーバー（2018年総選挙）
- OAS 選挙オブザーバー（2018年総選挙）
- アンブエロ・チリ外相（公式訪問）

(2) 往訪

- レイテ商工相、亜ブエノスアイレス訪問（企業対象セミナー参加）
- レイテ商工相、伯ポルトアレグレ（企業対象セミナー参加）
- レイテ商工相、英国訪問（政府・企業関係者との会合）
- アギレラ教育相、ニカラグア訪問（教育フォーラム参加）
- ヒメネス財相、台湾訪問（公式訪問）
- ロイサガ外相、ペルー訪問（第8回米州首脳会談）
- メディナ農牧相、ボリビア訪問（口蹄疫対策に関する会議）
- ヒメネス財相、米ワシントンDC訪問（IMF及びWBG総会）
- モリニゴ厚生相、キューバ訪問（国際医療コンベンション）
- アギレラ教育相、メキシコ訪問（第13回イベロアメリカ機構総会）